

## 第8回「異常気象と長期変動」研究集会

平成23年度防災研究所研究集会(23K-09)

「異常気象と低周波変動，気候変動の実態とメカニズム」

研究代表者: 伊藤 久徳 教授(九州大学 大学院理学研究院)

開催日時 2011年11月8日(火) 13:30~18:15  
2011年11月9日(水) 9:40~17:10

開催場所 京都大学宇治キャンパス 防災研究所連携研究棟大セミナー室(3階301号室)

2011年11月8日(火)

セッション1

司会: 伊藤 久徳(九大・理)

13:30 趣旨説明

伊藤 久徳(九大・理)

13:35 ブロッキング持続メカニズムと渦と渦の相互作用

山崎 哲\*・伊藤 久徳(九大・理)

13:50 ブロッキングを含む準停滞性高気圧性偏差のエネルギー収支解析

西井 和晃\*・中村 尚(東大・先端研)・笹平 康太郎・天野 太史

14:05 2010年ロシアブロッキングの予報データの解析

藤井 晶\*(京大・理)・黒田 友二(気象研・気候)・向川 均(京大・防災研)

14:20 2010年夏季にロシアで発生したブロッキング現象の解析

高橋 良彰\*・木本 昌秀・渡部 雅浩・森 正人(東大・大気海洋研)

14:35 2009年1月の成層圏突然昇温と対流圏との力学結合

直江 寛明\*(気象研・環境応用気象)・黒田 友二・柴田 清孝(気象研・気候)・廣岡 俊彦(九大・理)

14:50 冬季極東域の気温変動と成層圏循環との関係

馬淵 未央\*(京大・理)・向川 均(京大・防災研)

休憩 15:05-15:25

セッション2

司会: 山崎 孝治(北大・地球環境)

15:25 1ヶ月アンサンブル予報における極域大気の予測可能性変動

野口 峻佑\*・余田 成男(京大・理)・田口 正和(愛知教育大・地学)・廣岡 俊彦(九大・理)・  
向川 均(京大・防災研)

15:40 成層圏突然昇温現象の熱帯への影響: 大循環モデル実験

小寺 邦彦\*(名大・太陽地球環境研)・向川 均(京大・防災研)・黒田 友二(気象研・気候)・  
江口 菜穂(九大・応力研)

15:55 化学気候モデルを用いた成層圏QBOの中高緯度大気への影響に関する研究

山下 陽介\*・秋吉 英治(国立環境研)・高橋 正明(東大・大気海洋研)

16:10 冬季アジアモンスーンに伴う偏差パターンの形成要因に関する研究

太田 真衣\*・高橋 正明(東大・大気海洋研)

16:25 冬季黒潮流域におけるSST前線と温帯低気圧の発達について

塩田 美奈子\*・川村 隆一(富山大・理工)・飯塚 聡・初鹿 宏壮(富山県・環境科学センター)

休憩 16:40-17:00

### セッション 3

司会: 中村 尚 (東大・先端研)

- 17:00** 対流圏擾乱活動と東西風分布の海洋前線帯の緯度に対する依存性 –水惑星実験から–  
小川 史明\*・中村 尚・西井 和晃・宮坂 貴文 (東大・先端研)・吉田 聡 (海洋研究開発機構)
- 17:15** 中間規模波動の南半球環状モードに果たす役割  
黒田 友二\* (気象研・気候)・向川 均 (京大・防災研)
- 17:30** オホーツク海高気圧における大気陸面結合の影響  
松村 伸治\*・山崎 孝治・佐藤 友徳 (北大・地球環境)
- 17:45** 沖縄梅雨の気候学的時間発展と年々変動 –5月と6月の特徴の違いについて–  
岡田 靖子\* (北大・環境科学)・山崎 孝治 (北大・地球環境)
- 18:00** 自己組織化マップから見る ENSO 遷移期の熱帯対流活動の非対称性  
山本 一輝\*・川村 隆一 (富山大・理工)・井芹 慶彦

懇親会 (宇治生協会館) 18:30–20:15

2011年11月9日(水)

### セッション 4

司会: 榎本 剛 (京大・防災研)

- 09:40** 暖候期北西太平洋域における雲・降水活動の季節進行と経年変動  
佐藤 大卓\*・中村 尚・宮坂 貴文・西井 和晃 (東大・先端研)・小守 信正・吉田 聡 (海洋研究開発機構)
- 09:55** 1か月予報モデルにおける MJO の予測精度  
松枝 聡子\*・高谷 祐平 (気象庁・気候情報課)
- 10:10** 冬季日本の降水イベントと爆弾低気圧活動の将来変化  
山下 吉隆\*・川村 隆一 (富山大・理工)・楠 昌司・水田 亮 (気象研・気候)
- 10:25** 大気海洋結合モデルによる台風の季節予報と近未来の台風変化予測  
森 正人\*・木本 昌秀 (東大・大気海洋研)・石井 正好 (気象研・気候)・望月 崇 (海洋研究開発機構)・近本 喜光 (東大・大気海洋研)

休憩 10:40–11:00

### セッション 5

司会: 川村 隆一 (富山大・理工)

- 11:00** 温暖化による日本の冬の変化、熱帯との関連  
平原 翔二\*・萩谷 聡・村井 博一・及川 義教・前田 修平 (気象庁・気候情報課)
- 11:15** 観測データに基いたアジア域の気温長期変化  
安富 奈津子 (総合地球環境研)
- 11:30** JRA-55 長期再解析  
釜堀 弘隆\* (気象研・気候)・海老田 綾貴・古林 慎哉・太田 行哉・守谷 昌己・隈部 良司・大野木 和敏・原田 やよい・安井 壯一郎・宮岡 健吾・高橋 清利 (気象庁・気候情報課)・小林 ちあき・遠藤 洋和 (気象研・気候)・相馬 求・及川 義教・石水 尊久
- 11:45** 確率微分方程式による気候予測の提案  
稲津 将\*・中野 直人 (北大・理)・向川 均 (京大・防災研)

昼食休憩 12:00–13:30

## セッション 6

司会: 渡部 雅浩 (東大・大気海洋研)

**13:30** 気象庁における全球アンサンブル予報システムの開発  
氏家 将志\*・山口 春季・経田 正幸 (気象庁・数値予報課)

**13:45** CFES-LETKF の開発  
榎本 剛\* (京大・防災研)・小守 信正 (海洋研究開発機構)・三好 建正 (メリーランド大)

**14:00** 大気海洋結合モデル MIROC へのアンサンブル・カルマンフィルタの導入  
小山 博司\* (海洋研究開発機構)・石井 正好・建部 洋晶・西村 照幸・木本 昌秀 (東大・大気海洋研)

**14:15** 2週目の予測情報の利活用に向けた取り組み – 農業分野に活用するための応用技術開発について –  
宮脇 祥一郎\*・野津原 昭二・大澤 和裕・前田 修平 (気象庁・気候情報課)

休憩 14:30–14:50

## セッション 7

司会: 稲津 将 (北大・理)

**14:50** 気候感度の物理パラメータ不確実性のメカニズムと制約  
塩竈 秀夫\* (国立環境研)・渡部 雅浩・吉森 正和・小倉 知夫・横畠 徳太・阿部 学・James D. Annan・  
Julia C. Hargreaves・釜江 陽一・江守 正多・野沢 徹・阿部 彩子・木本 昌秀

**15:05** 特異値分解解析を用いた季節予測の統計的ダウンスケーリング  
今田 由紀子\* (東工大・情報理工)・木本 昌秀・鼎 信次郎

**15:20** CMIP5 に向けた近未来気候変動予測データの検証解析  
望月 崇\* (海洋研究開発機構)・近本 喜光・木本 昌秀・石井 正好・建部 洋晶・渡部 雅浩・森 正人

**15:35** 90年代後半における太平洋水温シフトの予測可能性  
近本 喜光\*・木本 昌秀 (東大・大気海洋研)・石井 正好・望月 崇・渡部 雅浩・森 正人

休憩 15:50–16:10

## セッション 8

司会: 木本 昌秀 (東大・大気海洋研)

**16:10** MRI-AGCM による 2010 年夏の再現実験  
遠藤 洋和\* (気象研・気候)・尾瀬 智昭・水田 亮・松枝 未遠

**16:25** 2010 年夏季における中緯度対流圏の昇温について  
小林 ちあき (気象研・気候)

**16:40** 2011 年夏の世界の天候と大気循環の特徴  
田中 昌太郎\*・大野 浩史・萱場 互起 (気象庁・気候情報課)

**16:55** 2011 年夏の熱帯季節内変動と日本の天候への影響  
大野 浩史\*・萱場 互起・田中 昌太郎 (気象庁・気候情報課)

**17:10** 終了

## 研究集会発表要旨作成要領

ご講演頂いた皆様には大変お手数で恐縮ですが、研究集会の報告書を作成致しますので、以下の要領で  
ご講演の要旨をご執筆頂き、期日までにご送付頂けますようお願い申し上げます。

期日: 2011年12月22日

提出ファイル形式: pdf ファイル

提出方法: e-mail の添付ファイルとして

mukou@dpac.dpri.kyoto-u.ac.jp

宛に、お送り下さい。

e-mail で送付できない場合は、下記までご連絡下さい。

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門

向川 均

TEL: 0774-38-4151

FAX: 0774-38-4153

書式:

- A4 で4ページ程度以上を目安にしてください(4ページ未満でも構いません)。
- 上下は3cm程度、左右は2.5cm程度のマージン(空白)をとる。ページ番号は記載しない
- カラー図版使用可
- 本文フォントサイズは11ptで、2段組みが望ましい(1段組みでも可)
- 引用文献もつけてください
- 先頭ページスタイルは以下のようにお願いします

講演タイトル [中央寄せ]

氏名(所属) [右寄せ]

本文開始(本文は11ptが望ましい)

文例として

<http://www.dpac.dpri.kyoto-u.ac.jp/mukou/meeting-03/Report/mukou.pdf>

を御参照ください。

以上です。

## JR 奈良線 黄檗駅 時刻表 (平日)

### 京都 ⇒ 黄檗 (往路)

08 時	京都	13	22	40	47
	黄檗	38	42	00	07
09 時	京都	03	24	35	52
	黄檗	22	48	57	17
10 時	京都	05	22	35	52
	黄檗	27	47	57	17
11 時	京都	05	22	35	52
	黄檗	27	47	57	17
12 時	京都	05	22	35	52
	黄檗	27	47	57	17
13 時	京都	05	22	35	52
	黄檗	27	47	57	17

### 黄檗 ⇒ 京都 (復路)

15 時	黄檗	18	28	48	58
	京都	39	50	09	20
16 時	黄檗	18	28	48	58
	京都	39	50	10	20
17 時	黄檗	19	28	43	50
	京都	42	50	03	12
18 時	黄檗	06	20	36	46
	京都	26	48	58	12
19 時	黄檗	06	20	36	46
	京都	26	48	56	12
20 時	黄檗	06	20	37	44
	京都	26	48	57	04
21 時	黄檗	06	20	37	57
	京都	26	48	58	20
22 時	黄檗	28	50		
	京都	50	13		
23 時	黄檗	20	50		
	京都	40	09		

京都大学宇治キャンパス 防災研究所連携研究棟大セミナー室 (3階 301号室)

宇治地区キャンパスマップ詳細

防災研究所連携研究棟大セミナー室 (3階301号室)

宇治生協 懇親会

